

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 624 号	氏名	Andrey Bychkov
学位審査委員	主査 高村 昇 副査 永山 雄二 副査 福岡 順也		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、甲状腺乳頭癌（PTC）の発症に関与する遺伝的因子の一つである <i>FOXE1</i> 遺伝子に着目し、腫瘍形成における役割、機能について検討を行ったもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 PTC の手術標本を用いて免疫組織学的染色を行い、染色の強度、染色部位の比率を用いて算出したスコアを腫瘍部、正常組織部等に分けて評価したのに加え、DNA を抽出して <i>FOXE1</i> 遺伝子中（rs1867277）と近傍（rs965513）の遺伝子多型を解析し、得られた結果を多変量解析で分析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、<i>FOXE1</i> の発現は、腫瘍細胞、正常細胞共に、境界に近い部位での発現が遠位部よりも強く、多変量解析の結果、境界領域にある腫瘍細胞の核内 <i>FOXE1</i> の発現は、rs965513 の遺伝子多型、腫瘍の多巢性と独立して相関していた。このことは <i>FOXE1</i> が腫瘍・宿主間の接合点において、癌発生の初期段階から腫瘍形成の促進に役割を果たしている可能性を示唆するもので、今後、甲状腺癌の発症メカニズムの解明への貢献が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は甲状腺癌の発症メカニズムの解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			